

テメキュラ市 訪問記③

7月25日から8月5日の日程で、大山町の姉妹都市アメリカのテメキュラ市を中学生8人が訪問しました。今回は、中山中学校3年生の柴田友理さん、大山中学校3年生の花房珠奈さん、清水九十九さんの感想文の一部です。

学んだことが多い アメリカ研修

中山中学校 3年 柴田 友理

私はアメリカのテメキュラ市と大山町との交流に参加し、自分の想像以上にアメリカと日本の違いがあり、とても驚きました。

私がアメリカで最初に感じた違いは、交通ルールなどに関することでした。

空港から出て車まで移動する時に、横断歩道を渡りました。その横断歩道は、日本のようなボーダーのラインはなく、信号がいつ赤になるかわかるようにカウントダウンされるようになっていました。しかし、アメリカの信号機にいくらカウントダウンをする機能がついていても、信号が青になっている時間がとても短いので、赤になるまでに渡るということがとても大変でした。

また、アメリカの道路は、車線がとても多く、ロサンゼルス的高速道路は片側に8車線もあるらしくて、このテメキュラ市周辺にある高速道路なんて、とてもかわいいものだなと思いました。私が今回アメリカに行って初耳だった交通ルールは、

▶ホストファミリー宅にて



16歳で車の免許を取ることができるということです。私のホームステイ先の学生は、16歳だったので車の免許を持っていました。

私が一番印象に残ったことは、やはりホームステイでした。自分以外に日本人はいないということで、最初はホストファミリーとうまくコミュニケーションが取れるかどうかとても不安でした。

しかし、私のホストファミリーは、以前にも日本人の学生を受け入れたこともあり、私に対して、いろいろと気遣いをしてくださったので、思っていたより気楽に生活ができました。

ホームステイの8泊は、あっという間に過ぎました。別れる時に、もう会えないのだろうと思うととてもさみしかったです。逆ホームシックになりそうなくらい、本当に楽しく生活をおくることができました。

今回、アメリカ研修に参加して、たくさんの体験ができて良かったです。アメリカという、日本とは異なる文化の中で生活をするのができて、自分の中での考え方などが少し変化した気がします。日本の良さや課題に気付けたので良かったです。この経験をこれからの生活に生かしていきたいと思います。

アメリカ研修を終えて

大山中学校 3年 花房 珠奈

私は、アメリカへ行って、いろいろな面で成長したと思います。特に、一番心配だったホームシックには、一度もかかりませんでした。人前でスピーチをするのも、苦ではありませんでした。

学んだこともたくさんありました。その中で、特に印象に残っているのは3つあります。

1つ目は、アメリカの中学校についてです。ア

メリカの中学校のシステムは、日本の中学校と何もかもが違いました。まず、アメリカは「サマーバケーション」という、日本でいう「夏休み」が2ヶ月間もあります。新学期が始まる数週間前に、生徒は学校へ来て時間割を自分で考え申請します。許可をもらうと今度は図書室へ行き、申請した教科の教科書を借ります。教科書は書き込んだり、汚したり、破ったりしたら罰金を払わないといけません。教室はすべて移動教室で、自分のクラスや教室はありませんでした。

学んだことの2つ目は、アメリカ人の美意識の